



# 高宮だより

安来市立第二中学校  
〒692-0037 安来市吉岡町7番地  
Tel: 0854-22-2859 Fax: 0854-22-6454



令和5年度（9月1日発行：第6号）

<http://www.city.yasugi.shimane.jp/gakkou/daini-jh/>

または右のQRコードから E-mail: [daini.jsc@city.yasugi.shimane.jp](mailto:daini.jsc@city.yasugi.shimane.jp)

## 2学期が始まりました 実り多き学期になることを願って

8月24日、まだまだ暑さが残る日が続いていますが、2学期がスタートしました。

2学期は、学校最大のイベントである体育祭、クラス一体感をめざした合唱コンクールなど大きな行事があります。これらの行事の成功をめざすことを通して、生徒たちの成長を促していきたいと思えます。

このように重要な学期を過ごす上で、始業式では各学年に次のように伝えました。

3年生にはまずは体育祭を成功させるため、引き続きリーダーシップを発揮してほしい、また、進路決定の大切な時期なので、自分の進路を見据え、学習についても努力してほしいと伝えました。また2年生は徐々に学校の中心となる存在に近づいていきます。責任ある行動が求められ、学校内外での言動やふるまいが注目されることを伝えました。1年生は学校生活の慣れがゆるみにつながらないように、2・3年生の頑張りを参考に生活してほしいと伝えました。

生徒たちにとって、2学期が実りある学期となるよう、学校としては生徒たちにはしっかりと目標を持ってもらい、さまざまな支援やアドバイスをしていきます。

保護者・地域の皆様、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。



## 少年の主張安来市大会

### 優秀賞受賞

今年度の少年の主張安来市大会は、8月29日に伯太のわかさ会館にて開催されました。市内5校から10名が

出場し、二中からは3年生の

が代表として出場しました。各校ともさすが代表で選ばれただけある

すばらしい内容でしたが、

の弁論も聞き手の心を引きつける素晴らしい内容でした。私は今回の他に、校内弁論大会、壮行弁論でも聴いていますが、何度聴いても目頭が熱くなります。結果は二席にあたる優秀賞でした。自分の体験をもとに、社会的な課題と向き合い、理解を求めている姿がきっと、たくさんの

人の心に残ったことと思います。内容については裏面に掲載しております。



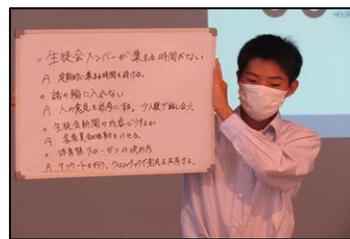
## 市内全中学校の生徒会集結 安来市中学校生徒会サミット開催

8月10日にアルテピアにおいて生徒会サミットが開催されました。本校からは、生徒会長と副会長が参加しました。

このサミットは今年度で8年目を迎えます。これまではコロナ禍のため、リモートでの会議が続いていましたが、今年度は一堂に会し、話し合いを深めることができました。

前半は、令和2年度にこの生徒会サミットで定めた「いじめ撲滅目標2020」に関する各校の活動内容を紹介し、後半は生徒会を運営する上での課題や解決策について話し合いました。

話し合いを通して、新たな気づきや他校での取組で参考になることがあり、今後の活動意欲が高まる会となりました。



## 県総体・コンクールの結果報告 応援ありがとうございました

### 【男子ソフトテニス部】

- 個人戦  
男子 ベスト16  
 ベスト16



### ■団体戦 2回戦進出

すべての試合、手に汗握る試合でした。息をのむ一進一退の攻防で誰が優勝してもおかしくない試合でした。

### 【女子バレーボール部】

- ベスト4
- 目標としていた県総体制覇は叶いませんでしたが、生徒たちは最後まであきらめず必死にプレーしました。

### 【吹奏楽部】

- 小編成の部 銅賞
- 緊張したと思いますが、部員全員の気持ちが一つになったすばらしい演奏でした。



## 大会成績 新チームも頑張っています

### 【野球部】

- TKSS杯 優勝

### 【ソフトテニス部】

- ヨネックス杯 男子団体戦 3位
- 安来市中学生ソフトテニス大会  
1年男子の部 優勝  
1年女子の部 優勝





【水泳部（社会体育）】

- 学年別水泳大会 1年の部
- ・50m自由形出場（自己新）
- ・200mメドレー出場



保護者・地域の方々のおかげです。  
今後とも応援よろしくお願いします。



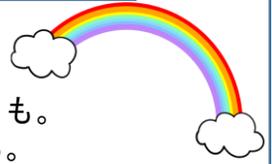
- 湘南藤沢カップ（4人制）  
予選2位 2位トーナメント2回戦進出
  - HEKINANマンモスカップ（2人制）  
予選2位 2位トーナメント2回戦進出
- 台風一過の強風と酷暑に苦労しながらも、一生懸命プレーし、全国各地から集まった精鋭たちと互角の戦いをしました。



私の家は里親家族

かぞくのかたち

おとうさん、おかあさんと くらしている こどもが おおいけど、  
おとうさんだけの いえ、 おかあさんだけの いえも ある。  
どっちも いなくて、 おじいちゃん、おばあちゃんと くらしている こも。  
おかあさんが ふたりの いえ、 おとうさんが ふたりの いえも ある。



これは、メアリ・ホフマン文の「いろいろいろんなかぞくのほん」という絵本の一部です。家庭科の授業でこの文を読んだとき、私の頭にはもう一つの家族の形が浮かんでいました。

私の母は里親をしています。里親制度とは、親の病気や離婚、貧困、虐待などによって、実の親と一緒に暮らせない子を、一時的、あるいは継続的に、家庭で愛情深く育てる制度のことです。そんな母のもとにある日、二歳の女の子をあずかってくれないか、と児童相談所から依頼がきました。その女の子、Nちゃんのお母さんはシングルマザーで無職でした。そのため、仕事を見つけて、経済的に安定するまでNちゃんをあずかってほしい、とのことでした。

あずかることになり、初めの頃は、Nちゃんと一緒に遊んだり、だっこをしてあげたりと、とても楽しい日々を過ごしていました。しかし、月日がたつにつれて、私の不満は高まってきました。うるさいのです。大きな声で泣きわめくことにいらつき、「たまちゃんお豆落としたねー。」と言われたほんのささいなことにも腹が立ちました。そして、母にあたることもしばしばありました。

そんな中、Nちゃんのお母さんが自ら命を絶った、と児童相談所から連絡が来ました。母は泣き崩れ、私はぼうぜんとするだけでした。Nちゃんの家族は誰一人としていなくなったのです。そして、私は思いました。怒りのぶつける相手がいるのは幸せなことだなど。私は友達にぐちをこぼすことはあっても、怒りをぶつけることはありません。ですが、家族には違います。無視をしたり、機嫌が悪いのをあえて見せつけたりします。しかし、親と離れ、施設で育てている子や親に虐待されている子はどこで素の自分をだすことができるのでしょうか。安心できる場はあるのでしょうか。父がいて、母がいて、姉もペットもいて、帰りたいと思える家がある私は、とても幸せです。

Nちゃんはその後、特別養子縁組とって戸籍上も親子になってくれる里親さんのもとへ行き、今も元気に育っているそうです。

里親制度は子どもが幸せになるための制度です。この制度をたくさんの人に知ってもらい、正しく理解してほしいです。そして、Nちゃんのように、一人でも多くの子に、安心できる場やあたたかい家族ができるといいです。そのために私も、うちに里子が来たときには、一緒に遊んであげたり、家事を手伝ったりして母を支え、里親制度の助けになればいいなと思います。また、里親制度ではない人にも、様々な家族がいることを知ってもらい、差別や偏見をなくして、里親家族が気持ちよく過ごせるようにしてほしいです。

家庭科で出てきた「いろいろいろんなかぞくのほん」を図書館で借りてみたところ、実は次のような続きがありました。

かぞくのかたち

おとうさん、おかあさんと くらしている こどもが おおいけど、  
おとうさんだけの いえ、 おかあさんだけの いえも ある。  
どっちも いなくて、 おじいちゃん、おばあちゃんと くらしている こも。  
おかあさんが ふたりの いえ、 おとうさんが ふたりの いえも ある。  
「ようし」や「さとご」として、 かぞくにむかえられる こも いる。

